

平成 28 年度 第 2 回学校関係者評価報告書

鳥取県立日野高等学校
校長 永野 智之

評 価 日	平成 29 年 2 月 24 日 (金)	
評 価 ・ 提 言	学校の所見・改善策等	
<p>1. 今年度の自己評価について</p> <p>(1) 重点目標の達成状況</p> <p>①学力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校卒業と同時に即戦力となる基本的な学力、地域の発展に貢献できる学力をしっかりと身に付けさせて欲しい。 <p>②豊かな心の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間としての一番の基礎・基本が挨拶である。挨拶や返事ができ、礼儀をわきまえた生徒を育成して欲しい。 ・福祉ボランティアや小学校・保育園との連携の取組は、少子高齢化の中にあって、とても良い取組みでお互いに得るものは大きい。 <p>③希望する進路の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域での職場体験に力を入れていることは評価できる。 ・地域の後継者を育成する教育を行い、地元に残ってくれる人材の育成に取り組んで欲しい。そのためには地域は学校をもっと支援・協力すべきであり、学校はもっと行政を活用してはどうか。 <p>④開かれた学校づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの地域連携の取組みがなされていることは大いに評価できる。 ・地域住人に対してだけでなく、もっと積極的に中学校に出向き、中学生や中学校教員にも日野高の良さを分かってもらおうよう努めて欲しい。 <p>(2) 説明・公表について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の広報誌「日野川」に、学校評価アンケートの結果や分析が掲載されている。分析した結果を次年度の取組みに活かして欲しい。 ・職場体験などを実施した結果について、受入れ事業所にフィードバックして欲しい。次年度に活かすためには、双方が理解・納得できるような仕組みを確立して欲しい。 <p>2. 今年度の県立学校裁量予算による特色ある学校運営の状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の教育目標に合致し、学校の特色を活かした事業が計画・実施されている。 <p>3. 取組改善のための提言</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の教育力をもっと活用するとともに、日野高校の姿を定着したものとし、“日野高といえばこれだ”という伝統を作り上げて欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校設定科目「ベーシック」の充実を図ると共に、授業改善等により、基礎学力の向上に努めたい。 ・「学びのルール」の徹底を図り、規律有る学校教育体制を確立したい。挨拶や返事がしっかりと指導を行っていききたい。 ・異世代交流やボランティア活動等を推進し、福祉や奉仕の心を涵養し、豊かな人間性を持った人材を育成したい。 ・様々な体験活動や地域交流を通して、キャリア教育を推進したい。 ・進路面接や進路調整会を充実させ、生徒の意欲を喚起し、能力を最大限に引き出し、進路実現に繋げたい。 ・学校報告会、学習発表会等を行い、学校の様々な情報を公開し、開かれた学校づくりを推進していきたい。 ・ホームページを刷新し、情報発信を迅速に行うことができるようシステムを変更したい。 ・本校のビジョンを実現するために、学校独自事業の刷新を図ると共に、地域と連携しながら魅力ある学校を創っていききたい。 ・他校にあまりない射撃部や郷土芸能部などの部活動のPR、進学体制の整備、寮整備・充実等により、中学生に魅力有る方策を検討・実施していきたい。 	